

第5回五ヶ瀬川水系流域治水協議会

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

○五ヶ瀬川水系において「流域治水プロジェクト」に関する第5回協議会(WEB会議)を開催しました

開催日時：令和5年3月28日(火) 15:25～16:20

参加機関：延岡市、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町、宮崎県、熊本県、大分県、宮崎県延岡土木事務所

宮崎県東臼杵農林振興局、宮崎県西臼杵支庁、熊本県上益城地域振興局、

熊本県阿蘇地域振興局、大分県佐伯土木事務所、林野庁九州森林管理局宮崎北部森林管理署

森林研究・整備機構 森林整備センター宮崎水源林整備事務所、九州財務局宮崎財務事務所

気象庁宮崎地方気象台、アドバイザー、延岡河川国道事務所

○アドバイザーの変更に伴う規約改定、「流域治水プロジェクト」における前回協議会からの変更点を確認し、流域治水プロジェクトの進捗共有を図った

○議事内容

- ・規約改定(アドバイザーの変更)について
- ・五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト
- ・五ヶ瀬川流域対策事例(第4回協議会からの追加・更新)

○流域対策の新たな追加事例

- ・蛇谷川排水機場の老朽化に伴う更新(宮崎県)
- ・昭和町地区排水ポンプの整備(延岡市)
- ・高尾野川・今村川の河道掘削(高森町)
- ・防災啓発、防災力の強化(宮崎県)
- ・ハザードマップ作成支援(高千穂町)

○主な意見・コメント等

- ・令和4年台風14号による出水では、霞堤から田んぼに大量のゴミがはいつてきた。河川の塵芥が、田んぼに多くはまらないような対策を宮崎県に引き続きお願いしたい。
⇒(宮崎県より)植栽帯によるフィルタリングを実施していたが、令和4年台風14号の出水ではうまく機能しなかった。植栽帯を強化して設置するなど対策を行いたい。

○アドバイザーより(宮崎大学 入江教授)

- ・今までは被害軽減対策をソフト施策のみで考えていたが、今後は、下流域の氾濫を前提とした考えが必要となってくる。それを共有することが治水対策の実現に一步近づいていくことになる。



WEBによる開催



アドバイザー：宮崎大学
入江教授



事務局の状況